

SGU 四国ゴルフ連盟会報

No.43

発行/四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

四国クラブ対抗決勝競技 (第31回) 今治カントリー倶楽部が8度目の優勝

(8月4日 黒潮カントリークラブ)

四国のクラブチャンピオンを争う決勝競技。各県の予選1位の4チーム、徳島県鳴門カントリークラブ、高知県スカイ・ベイゴルフクラブ、香川県琴平カントリー倶楽部、愛媛県今治カントリー倶楽部を中心とする戦いが予想された。特に鳴門カントリーと今治カントリーは、過去7度の優勝を果たしていて、どちらが先に抜け出すかも注目された。

整備の行き届いた黒潮カントリー太平洋・暖流コースを舞台に熱戦が繰り広げられた結果、今治カントリー倶楽部がチーム平均スコアでパープレーという過去最高の成績で優勝。8度目の四国王座についた。



優勝した今治カントリー倶楽部関係者

順位	クラブ名	チームS	最小S	最多S
優勝	今治カントリー倶楽部	360	69	78
2位	琴平カントリー倶楽部	366	72	76
3位	松山国際ゴルフ倶楽部	366	70	81
4位	土佐カントリークラブ	368	71	78
5位	新居浜カントリー倶楽部	371	70	77
6位	松山シーサイドカントリークラブ	373	68	80
7位	志度カントリークラブ	374	70	81
8位	道後ゴルフ倶楽部	375	72	79
9位	鳴門カントリークラブ	376	72	77
10位	屋島カントリークラブ	378	71	79
11位	レオマ高原ゴルフ倶楽部	379	72	84
12位	四国カントリークラブ	379	72	85
13位	愛媛ゴルフ倶楽部	379	72	85
14位	Kochi黒潮カントリークラブ	379	75	87
15位	錦山カントリークラブ	380	72	79
16位	スカイ・ベイゴルフクラブ	382	71	88
17位	高南カントリークラブ	383	70	80
18位	阿南カントリークラブ	383	74	81
19位	タカガワ新琴南ゴルフ倶楽部	384	72	82
20位	高松ゴールドカントリー倶楽部	390	74	82
21位	詫間カントリークラブ	394	77	84

個人成績では森内信隆選手(松山シーサイドC)が初優勝。上位入賞者は次のとおり。

順位	氏名	所属	スコア
1位	森内 信隆	松山シーサイドC	68
2位	二宮 英二	今治C	69
3位	中田 久志	志度C	70
3位	安田 浪男	高南C	70
3位	瀬尾 拓矢	新居浜C	70
3位	濱邊 玲	松山国際G	70
3位	二宮 慎堂	今治C	70



第31回四国ジュニアゴルフ選手権競技

北条カントリー倶楽部 <7/21・22>

第31回四国ジュニアゴルフ選手権が7月21～22日の2日間、恒例の北条カントリー倶楽部（愛媛）で開催された。高校生91名（男62、女29）、中学生60名（男36、女24）が熱戦を展開。上位入賞者は次のとおり。

なお、この競技は、全国高等学校・中学校ゴルフ選手権大会（第55回）個人の部四国予選（四国高等学校ゴルフ連盟・スポーツニッポン新聞社共催）も兼ねている。



各部門の優勝者

《男子15～17歳の部》 6,799yd Par72

順位	氏名	所属(学年)	TOT
優勝★	石徳 俊樹	香川西高②	138
2★	釜須 雄基	香川西高③	143
3★	早藤 将太	明德義塾③	145
4★	原 周平	寒川高校③	146
5★	栗永 遼	香川西高②	147
5☆	吉田 心	明德義塾③	147
5☆	中川 将太	明德義塾①	147
5☆	岩崎 智大	香川西高③	147
9☆	高市 裕気	香川西高③	149
9☆	中川 桂輔	明德義塾②	149
11☆	亀代 順哉	香川西高②	150
12☆	岩崎 大泰	香川西高②	151
13☆	浅野正太郎	英明高校②	152
13☆	福濱 将哉	英明高校②	152
15	杉山 知靖	明德義塾③	153
15	谷口 祥麻	辻高校②	153

《女子15～17歳の部》 6,110yd Par72

順位	氏名	所属(学年)	TOT
優勝★	濱 美咲	生光学園③	146
2★	田所茉莉香	明德義塾③	151
3★	堀 真珠	英明高校②	152
4★	公受貴久美	香川西高①	153
4☆	和田 芽緯	明德義塾③	153
6☆	栗永 遥	香川西高③	154

《男子12～14歳の部》 6,799yd Par72

順位	氏名	所属(学年)	TOT
優勝★	香川 奈鷹	三野津中③	150
2★	加藤 翔	勝賀中学③	150
3☆	小野 浩久	明德義塾③	153
4☆	小西 勇輝	小野中学②	154
4☆	嶋谷 和真	明德義塾③	154
6	西山 大広	高瀬中学②	156
7	遠藤 健太	太田中学③	157
8	河合 聖哉	大洲北中②	158
9	関谷 太希	津田中学③	160
10	鴻上 大和	新居浜南①	162

《女子12～14歳の部》 6,110yd Par72

順位	氏名	所属(学年)	TOT
優勝★	森田 遥	附属高松中③	145
2★	丹 萌乃	西条西中③	146
3★	河本 結	久米中学①	152
4	安藤 京佳	新居浜東②	153
5	鴻上ほの花	新居浜南③	157
6	高橋亜可里	大西中学②	161
7	中川 月奈	新居浜東①	164
7	野々村颯記	松山西中③	164
9	竹下 桃夏	松山西中①	168
10	片桐 風紗	明德義塾③	171

★印は日本ジュニアゴルフ選手権競技出場選手及び全国高等学校・中学校ゴルフ選手権大会出場選手（堀真珠選手は日本ジュニアのみ）
☆印は全国高等学校・中学校ゴルフ選手権大会出場選手

杉原大河君が6年間完全制覇

第6回四国小学生ゴルフ大会

新居浜カントリー倶楽部 <7/18>

第6回四国小学生ゴルフ大会が7月18日恒例の新居浜カントリー倶楽部で開催され、小学生74名（4～6年男子30、4～6年女子21、低学年男女23）が参加。台風が近づく中、雨中で熱戦が展開され、杉原大河が高学年の部で優勝。6年連続優勝（1～3年時は低学年の部）を果たした。

この大会は昨年（第5回）までは、小中学生ゴルフ大会として実施してきたが、中学生はジュニア選手権もあり、今年から小学生大会として開催することになった。

なお本大会は第5回全国小学生ゴルフ大会（JGA主催）及び第6回全日本小学生ゴルフトーナメント決勝大会（LPGA主催）に通じている。



全国大会出場者

《小学生4～6年の部 男子》 5,545yd Par72

順位	氏名	学校・学年	合計
優勝★	杉原 大河	(徳島) 論田小⑥	70
2位★	河本 力	(愛媛) 窪田小⑥	80
3位☆	岡山 史弥	(愛媛) 伊台小⑥	83
4位☆	加藤 渉	(香川) 弦打小⑤	84
5位	吉本 翔雄	(香川) 飯山南小⑤	85
6位	児玉 和生	(愛媛) 生石小⑥	87
7位	落合 凌	(香川) 牟礼北小⑤	90
8位	板東 寿匡	(徳島) 沖洲小⑥	91
9位	太田 一樹	(徳島) 福島小⑥	91
10位	浦 大智	(徳島) 津田小⑤	93

《小学生4～6年の部 女子》 5,118yd Par72

順位	氏名	学校・学年	合計
優勝★	手束 雅	(徳島) 新開小⑤	79
2位★	中野 なゆ	(高知) 高知小⑥	79
3位☆	山本 唯加	(高知) 高知小⑤	81
4位☆	吉原奈生子	(香川) 氷上小⑥	82
5位	和木 彩夏	(愛媛) 高津小⑥	82

《小学生1～3年の部 男女》 4,110yd Par72

順位	氏名	学校・学年	合計
優勝☆	杉原 光紀	(香川) 多度津小③	79
2位	古川惣一郎	(徳島) 高志小②	81
3位	和木 健城	(愛媛) 高津小③	84
4位	加藤 将	(香川) 弦打小②	85
5位	東 拓未	(香川) 多度津小③	91
7位☆	三瀬 舞愛	(愛媛) 野村小②	94

★印は全国小学生ゴルフ大会及び全日本小学生ゴルフトーナメント決勝大会出場選手
☆印は全日本小学生ゴルフトーナメント決勝大会出場選手

第31回四国シニア

羽藤選手(タカガワ新伊予GC)が2連覇

四国カントリークラブ
(9/27・28)

第31回四国シニアゴルフ選手権競技が9月27・28日の2日間、四国カントリークラブ(徳島県)で開催され、133名が参加。難しいグリーンを制し、接戦の末、羽藤悟志選手(タカガワ新伊予GC)が史上初の2連覇を果たした。

なお、上位選手は次のとおり。このうち上位6名が第33回日本シニアゴルフ選手権競技(熊本県熊本空港カントリークラブ)への出場権を得た。



四国シニア優勝 羽藤悟志選手

《四国シニア》 6,668yd Par72

POS	PLAYER	CLUB	TOT
優勝 ★	羽藤 悟志	新伊予G	145
2 ★	千原 喜清	鳴門C	146
3 ★	井上 幸伸	土佐ユートピアC	149
3 ★	中西 秀樹	阿南C	149
5 ★	竹田 秀策	今治C	151
5 ★	久保田剛司	坂出C	151
7	岡 耕司	グランディ鳴門G	152
8	坂野 明宏	JクラシックG	153
8	樫尾 一輝	西徳島G	153
10	後藤 秀男	四国C	154
10	唐津 正二	高松C	154
10	宮岡 勝久	高南C	154

★は日本シニアゴルフ選手権競技出場者

ミッドシニアは村上選手(松山GC)

グランドシニアは黒河選手(新居浜CC)が初V

高松カントリー倶楽部
(9/14・15)

第18回四国ミッドシニア・グランドシニアゴルフ選手権競技が9月14・15日の2日間、高松カントリー倶楽部で開催され、ミッド70名、グランド72名が熱戦を展開。ミッドは村上顕選手(松山GC)が、グランドは黒河清選手(新居浜CC)が初優勝。ミッドは5位までの選手が11月7・8日熊本県玉名カントリークラブで開催の第18回日本ミッドシニア選手権の、グランドは4位までの選手が同2日間、鹿児島県南九州カントリークラブで開催の第18回日本グランドシニア選手権の出場権を獲得。

なお上位入賞者は右のとおり。

《ミッドシニア》 5,967yd Par71

POS	PLAYER	CLUB	TOT
優勝	村上 顕	松山G	146
2	平田 静夫	詫間C	149
2	真井 純一	御所C	149
2	四宮 陽一	高松グランドC	149
5	田中 昭男	高松C	150
6	戸田 浩史	滝の宮C	151
6	小澤 貢	今治C	151
6	中島 清	屋島C	151
9	福井 勝祐	ロイヤル高松C	153
9	山本 桂司	錦山C	153



ミッドシニア優勝 村上 顕選手



グランドシニア優勝 黒河 清選手

《グランドシニア》 5,641yd Par71

POS	PLAYER	CLUB	TOT
優勝	黒河 清	新居浜C	146
2	白鳥 英二	JクラシックG	150
2	鴨井 康彦	エリエールG	150
4	堀川 昌俊	鮎滝C	151
4	藤岡 一助	土佐C	151
6	越智保太郎	北条C	152
7	西谷 忠	坂出C	153
7	猪野進一郎	土佐C	153
7	山田 太郎	ロイヤル高松C	153
7	十川 武志	アルファ津田C	153
7	大田 勇	新伊予G	153
7	長尾耿之介	徳島G	153

四国代表選手が大健闘

- 第5回全国小学生ゴルフ大会男子の部で杉原大河選手が67の好スコアで念願の初優勝。
- 第18回日本ジュニアゴルフ選手権競技中学女子の部で丹萌乃選手が8位、森田遥選手が22位、高校男子の部で石徳俊樹、早藤将太両選手が14位タイ、釜須雄基選手が20位、中学男子の部で加藤翔選手が16位、香川奈鷹選手が22位の活躍。
- 第11回日本スポーツマスターズ個人戦で崎山俊紀選手が3位、チーム戦で愛媛チーム(羽藤悟志、崎山俊紀、山下一實)が3位。

シリーズ 倶楽部コースのご紹介 その46

土佐山田ゴルフ倶楽部

1992年開場の土佐山田ゴルフ倶楽部は、全国に127箇所のゴルフ場を運営保有するパシフィックゴルフマネージメント株式会社(PGM)が2007年4月より保有運営しており、現在四国では当クラブを含め、7箇所のPGMグループゴルフ場があります。

当クラブは高知市内から約30分、南国ICから15分程度に位置し、海拔171メートルのクラブハウスから眺める眼下には、果てしなく太平洋を一望することができます。

クジラをモチーフにして作られたクラブハウスは3,900平方メートルの延床面積があり、広大な空間による開放感と非日常感覚を演出しています。

また、南方のコース側は全面ガラス張りのため、雄大なパノラマ景観を楽しむことができ、ゆったりとくつろげる設計には好評の声をいただいています。

吉村金八設計による全長7,117ヤードの全18ホールは、和風庭園風に作られたアウトコースと亜熱帯植物が生い茂るリンクス風スタイルに別れ、それぞれ全く異なる趣きから成り立つ本格チャンピオンコースです。

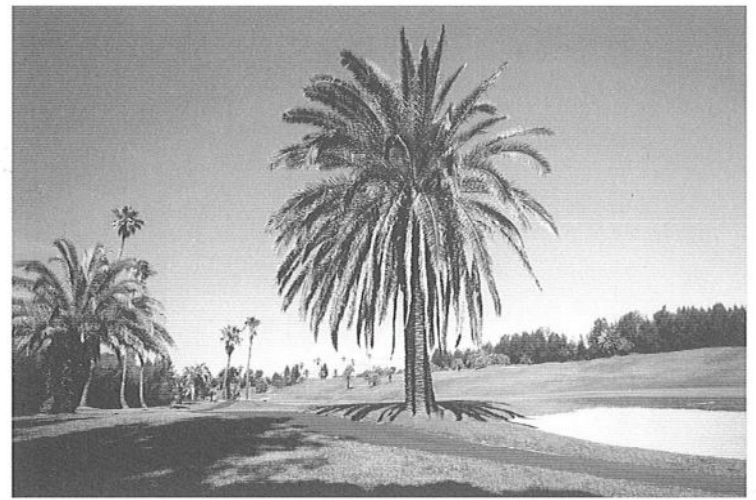
アウトコースには山桃、山桜など、自生の植物が各所に多く点在し、全コース内で最も高所のNo.5番ティー横にはコース売店が設置されており、眼下に見下ろす各ホールロケーションと香美市の街並み、同時に太平洋まで見渡すことのできる景観は圧倒的です。また、見下ろしたNo.3の池には大きな鯨(模型)が遊泳し、はりまや橋、桂浜など、土佐の観光縮図を発見することができます。

一方、ワシントンア、カナリー椰子が揺れる全長3,627ヤードのインコースは、全体的に広々としたフェアウェーを持つ南国特有の9ホールです。南に太平洋、北には四国山脈とおおらかなロケーション、ハザード池も6カ所と、非常にタフなコース設計です。飛距離と技術が試される当コースを是非チャレンジください。

なお、最後にPGMグループの特典として、会員様向けにはグループゴルフ場を優待料金でご利用いただけるプログラム「P-CAP」のほか、ビジター様向けにはプレーするたびにポイント(ヤード)が貯まる特典プログラム「PGMヤーデージプログラム」として「PGMカード」を発行し、全国から多くのお客様にご来場いただいております。

今後も商品価値を高めると共にお客様満足度の向上、そして安全・安心を第一として運営して参りますので、皆様の変わらぬご愛顧を宜しくお願い申し上げます。

支配人 麻植 修一



〒782-0051 高知県香美市土佐山田町楠目字油石山3594-1
TEL 0887-52-3161 FAX 0887-52-3162

ギヤラリー席

〈バーディの由来〉

バーディという言葉の由来について書きましょう。撰津茂和氏の本によりますと、1903年の冬の土曜日、フィラデルフィヤ・カントリー・クラブの錚々たる顔触れ、ホワード・ペリン(1917年USGA会長)、ジョージ・クランプ(パイン・バレー・コースの創立者)、アーサー・ティーリングハースト(コース設計家)、ウィリアム・スミス(州アマ選手権3回)、エーブ・スミス(同選手権1回)の6人が、フィラデルフィヤが寒いのでアトランチック市郊外のザ・カントリクラブに出掛け、3人ずつ2組に別れて、3ボール・マッチプレーを行いました。この頃のペットは各ホールで一番いい人が皆からボールを1個ずつもらい、これをフィラデルフィヤ・ボールサムと呼んでいました。午後、ジョージ・クランプとアーサー・ティーリングハーストとエーブ・スミスの3人組が先にスタートしました。当時はゴム系巻き芯のハスケル・ボールが使われていた頃で、一般ゴルファーの技術が低かったのでロング・ホールは3打で乗せてパーを取るのが精一杯でした。8番470ヤードのロング・ホールに来たとき、エーブ・スミスのドライバーが折からの強い追い風に乗って240ヤード飛び、次のブラッシーの2打がこれまた230ヤード飛び、ピンへ6ヤードに止まりました。これには他の2人も驚いて、「ザッツ・ア・バード」と叫んだのです。多分ボールに羽が生えて鳥のように飛んだと言いたかったのでしょう。エーブ・スミスはこの6ヤードを2パットで入れ、パー5の所を4で上がっています。彼はそのホールで勝って他の5人からボールをもらったの言うまでもないことですが、その頃のアマチュアでは誰もできなかったロング・ホールのツオンに初めて成功したので、ボール1つではいけない2つずつ出そうと言い出し、皆が2個ずつ出しています。その日、クラブ・ハウスに集まったとき、全員、彼のために乾杯し、そのホールの「鳥のように飛んだボール」について話が弾んだのは言うまでもないことでした。

この話はたちまちフィラデルフィヤ・カントリー・クラブ中に広がり、その後はパーより1つ少ないスコアを「バード」と呼んでいましたが、次第に全米に広がり、いつのまにか「バーディ」と呼ぶようになっていました。

バードの名付親のコース設計家、アーサー・ティーリングハーストは彼の回顧録(1932年)の中でその経緯をおもしろく語った後、次のように書いています。「その後、クラブとボールの発達でバーディはおろかイーグルやアルバトロスまで出るようになったが、もしあの時、私がバードと呼ぶ代わりにアルバトロスなどと言っていたら、後の者が、つける鳥の名前がなくて困っただろう。」

〈事務局からのお知らせ〉

◆平成23年度第2回競技・ハンディキャップ委員会が開催される

8月10日新居浜CC会議室で第2回競技・ハンディキャップ委員会を開催。来年度の四国ゴルフ連盟主催競技の日程等について協議しました。

現在、各県に持ち帰り、開催場所の調整をしているところです。

◆今後の競技日程について

- ・第2回四国アンダーハンディキャップゴルフ競技
10月12日 鮎滝カントリークラブ
- ・第1回四国ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
10月21・22日 今治カントリー倶楽部
- ・第60回四国グランドシニア会秋季ゴルフ競技会
10月27日 新居浜カントリー倶楽部
- ・第1回四国女子インタークラブ親善競技
11月1日 坂出カントリークラブ

特に四国ミッドアマと四国女子インターは今回が第1回となります。皆様のご参加をお待ちしています。